



天山の旧跡・自然散歩

2015年9月15日 通し124号

『天山里づくり “夢”を共有しよう！里地里山を未来遺産に！』

◆事業報告 平成27年8月9日自然観察会 大成功！！

参加者数 天山区の皆さんが13人もボランティアに参加してくれました。

項目	自然観察会 (山歩き)	ソウメン流 し竹樋設置	ソウメン ゆがき	昼食	ソウメン寄贈
総数	38	6	3	47	8月9日現在 8
大人	4	6	3	13	
講師	5			5	
小中学生	29			29	

8月9日(日)は、大型の台風13号は中国大陸の方に進み、天天候に恵まれ無事実施できました。自然観察会は小学生4人中学生25人参加してくれました。受験勉強で大変と思いますが、気分転換のため参加されたり、部活動の活動をしないで参加したりされました。時間の使い方としては最高の考え方ではないでしょうか。勉強に集中する時間、全く別の事に集中する時間と使い分けることは、脳を最高に上手に使ったといえます。

●藤野会長あいさつ



●山歩きの諸注意



- 会長からは、この自然観察会に参加してくれて、感謝の気持ちを述べられました。環境問題が重要なことを、小中学生にはなされました。
- 諸注意：長袖長ズボンの重要性、虫刺されに注意、熱中症にならないよう水分補給を各自することなど。山歩きですから、低い山でも事前準備が大切なこと。

●出発してすぐ先生に質問



●高木神社境内で



●小湊先生を先頭に檀徒池の土手を歩く



●班に1台のインスタントカメラで記録する



●童男卯女岩からの眺め：左は久留米市方面——遠くは脊振山——福岡市——四王寺山



●ウリハダカエデ：熱心に記録する子どもたち、お母さん



●山道にはいり、ナナフシを見つけた



●見つけた『アカハライモリ』



●モンキアゲハ



●テンのフン (糞)



●ヤブミョウガ



●アブラススキ



●ミソハギ



●「パン」と鳴らせるカラムシの葉



●マンネンタケ (霊芝)



●ヨウシュヤマゴボウ



●がんばる小学生をパチリ



●童男男女岩の下の岩の上でパチリ



●ビナンカズラ (昔の整髪料)



●自然観察を終えて筑前町二タ区の運動公園で休憩！とても暑い日であったので「へとへと」です。
この広場奥に、湧水があり、冷たい湧水をおいしくいただきました。



●一緒に歩いた井上元生の感想：とてもよく興味をもって、先生に質問をしてくれました。ありがとう！

- 山歩き自然観察隊は天山公民館に到着して、すぐ、天山区民の方々のソウメンの寄付やソウメン流し台の設置をされ、ソウメンを湯がいてくれていましたので、さっそくおいしくいただきました。さらに、高山スミ子さんから頂いたたくさんのブルーベリー、トマトやおにぎりを口いっぱいにはおぼりました。
- ソウメン流し台の設置作業：この自然観察会を支えてくれた天山区民の男性の方々のボランティア活動。



立派に出来上がったソウメン流し台

- ソウメンを湯がいた天山区の3人の女性の方々 ●おいしそうにソウメンをすすする



先生方、お母さん方は、残り物に副ありというわけで、流れ着いたソウメンやトマト、ブルーベリーを堪能

- 子どもたちのソウメンをすすするのを見ていると、「ボランティアの苦勞も忘れる」という心地よい疲れ

●観察会のまとめを班ごとに作成する「ワークショップ」



●観察報告紙づくりには、各班とも真剣に話し合っ、とてもいい雰囲気、学校では味わえない『ここにこれを描こう』『いやここがいい』など会話が弾み、気持ちいい時間が過ぎました。各班とユニークな報告紙が出来上がりました。

※このワークショップでは、日本人特有の恥ずかしがりという姿は見られませんでした。自分の考えや思いは「表現しないと伝わらない」【(相手に言葉で伝える)(絵・図に書いて伝える)(文章にして伝える)】ということが行動に現れたと思っています。とてもいい体験になったと思います。天山ふれあい会 井上元生

●観察報告会：5班：動物を中心にユニークな報告

●4班：報告1：4班は報告者2名でした。



●4班報告2

●3班報告：



●2班報告

1班報告



●見事なユニークな報告紙が出来上がったのを、よく報告してくれました。班で話し合いで作った報告紙を見ての報告ですから、説明を落とさず懸命にしていた姿が、素晴らしい！

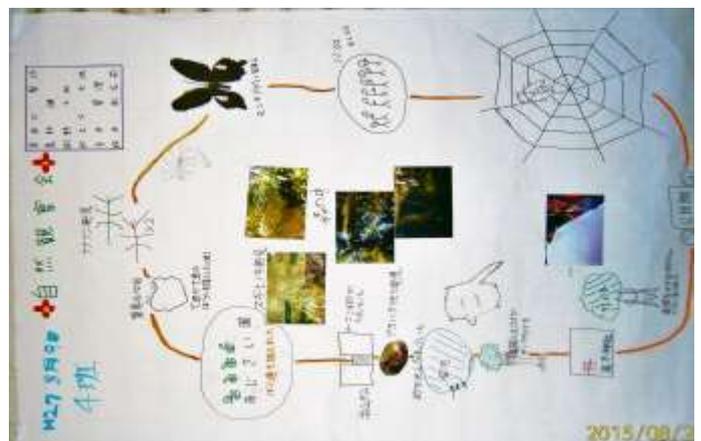
ただ残念なのは、報告者を決めるときに、「あんたしー」「あんたしんしゃい」などと人前で話すのが恥ずかしいからと、ゆずりあいする光景が見られたことです。

自分の考えや思いは「表現しないと伝わらない」【(相手に言葉で伝える)(絵・図に書いて伝える)(文章にして伝える)】ということがとても大切です。

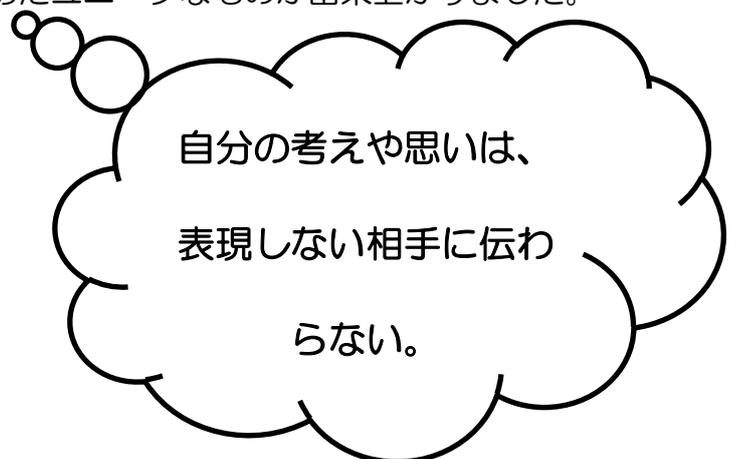
- 1班報告紙：写真にはないが植物の特性を先生からよく聞いていて、書き込みました。
- 2班報告紙：自然観察山歩きの報告紙立派にできました。特に興味深いマンネンタケを取り上げ中心にした報告紙に仕上がりました。



- 3班報告紙：又ルデの虫こぶなど植物と昆虫の共生にも興味を示してくれて、自然界の植物・動物・昆虫は人間を含め共生していることがよくわかります
- 4班報告紙：見つけにくいザトウムシも記録されていてビックリです。君たちが8月9日11時2分のサイレンに気がついてくれたことに感心しました。 平和についてよく学習していると思いました。知識もなしに「平和を守る」という口先だけの「平和を守る」は実現できませんからね。



- 5班報告紙：動物を主軸に報告紙をまとめたユニークなものが出来上がりました。



- 各班とも、知恵を絞って素晴らしい報告紙が出来上がりました。発表会の時は、日本人特有の恥ずかしがりがちちょっと出てしまったけど、報告会も立派でした。

●里山を守ること・・・

私たちが自然観察した宮地岳は里山です。人が住んでいる低山地から田や畑などの耕作地、ため池や小川などの全体を意味しています。遠い昔から、人の生活に密接に結びついてきています。

人の手によってよく手入れされ維持管理されている林地・草地・湿性地などの多様な植物相に、多くの種類の小型哺乳類・爬虫類・両生類・昆虫類や野鳥などが棲息し、独自の生態系を形成しています。

その里山の現在の小型哺乳類・爬虫類・両生類・昆虫類や野鳥を調査し記録することによって、君たちが大人になった30歳代—40・50歳代—高齢者になったその時の小型哺乳類・爬虫類・両生類・昆虫類や野鳥がどんな種類になったかを見ることができます。

そのことは、人間が地球温暖化に対してどんな風に解決して行ったのか？しなかったのか？を証明することができます。

また、筑前町二夕運動公園の湧水や、筑紫神社の湧水がおいしかったことを覚えていると思います。もしも、この里山近くにその湧水をにぎりではなく化学物質でよごすような産業廃棄物処理工場などが建設され、汚染物質（空気中や地下水）が排出されたとしたら、そこに住んでいる人たちは安全な生活ができなくなります。

里山を守る活動の1つが、この自然観察会なのです。天山ふれあい会は、会がつづくかぎり、この自然観察会を続けたいと思っています。君たち自身、また後輩たちがこの自然観察会に参加して里山を守る活動を広げてください。暑かったけど頑張った君たちに感謝します。 天山ふれあい会 事務局長 井上元生